

目標達成計画

作成日：平成29年1月17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議に警察・消防関係者に参加していただく。	・警察：地域の現状を把握していただき、徘徊時どのような捜索をすべきかを話し合う。 ・消防：地域にAEDがあることを周知し、地域の住民にAEDの使い方の講習を行う。	6ヶ月
2	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化や終末期について、OJT、OFF-JTを常に行っていく。	看取り介護の指針を作成し、その指針に沿ったとり組を行っていく。	12ヶ月
3	35	○災害対策 火事や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	ハザードマップの作成、避難場所の確認	それぞれの災害によって、避難場所が異なるため、室内にそれぞれの避難場所を明確にした地図等を掲示する。 また、連絡網に自治会長の連絡先を入れる。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。